

予算委員会質問予定項目

市民課窓口の土日祝の開庁について

提出議案：情報コーナー運営管理事業

鹿内博市長が初挑戦の市長選挙で掲げた「市役所大改革プロジェクト」公約の中に「市民サービス部門は土、日、祝日も開庁（8:30～17:00）」というのがあり、市長は当選直後より、最優先で取り組む事項として窓口開設を強調し、実施の姿勢を明示しました。

青森市は、市民ニーズや費用対効果、実施上の問題点の把握が必要であることから、まずもって本庁市民課において試行することにしました。市民課窓口の土日祝日開設試行は2009年8月22日～2010年3月31日されました。

試行の結果、利用者の少ないことが明白となり、土曜日だけの開庁に留め、住民異動届業務は除外し、2010年4月より本格実施されています。

実施に伴い ①他課窓口には拡大しない、②市民センターでの土曜日の発行サービスを廃止する、③本庁の自動交付機を休日稼働させたい（今だ実現せず）、④浪岡事務所市民課も土曜日開庁したい、との点も示されてました。

その後に、住民サービス拡充についての動きが無いことから、③の自動交付機の設置が行われていない状況から、一般財源36,359千円の今定例会議案には疑問があったことから、予算委員会で質疑をし判断することにしました。

1. 情報コーナー運営管理事業及びまちなか保健室について

①平成21年8月～翌年3月の試行期間の結果を踏まえ、なぜ、改めて日・祝日の情報コーナーの窓口の開庁を行うのか

②情報コーナー及びまちなか保健室における、勤務公署・体制及び休業日について

※予定として、休業日を年末年始、第2水曜日とあるが、男女共同参画プラザ「カダール」や市民図書館の休館日に合わせた（10時～18時）

③情報コーナー開設に伴って、出勤する他部局は（時間が無く）

④現在、本庁の土曜日の開庁時の各種証明書の発行件数は

⑤本庁の土曜日開庁を止めるという事は、6年もの間、市民に馴染んできているのに、市民サービスの低下ではないのか

※交通戦略のダイヤ編成と同じで、一貫性がない

※東北各県都市における同様の窓口開設状況を調査したところ、土日祝日の住民票交付等のサービス業務は市中心地である駅前にサービスセンター等の窓口を設置して行い、本庁は閉庁しているところが大部分でした。

⑥情報コーナーでは本庁窓口と同じサービスを提供するのか

⑦自動交付機は1台設置費用はいくらか、

⑧本庁窓口を廃止するのであれば、本庁の自動交付機を稼働させるべきではないか

⑨整備費用として 36,359千円 内訳は？

⑩情報コーナーは4階の商業フロアに設置されるが、アウガが再生するには、リニューアル必要と思っておりますが、リニューアルすれば、情報コーナーに新たな経費が発生しないか

⑪万が一、経営が困難になった場合、商業フロアは立ち入り禁止になるのではないのか

⑫なぜ、今定例会に補正予算として計上したのか、12月議会でも良かったと思うが、理由を

⑬最後に来年4月からの情報コーナー運営費のおおよその算定は

答弁は議会だよりを参照して下さい。

予算委員会での質疑の結果、情報コーナー運営管理事業補正予算については反対することにしました。

また、他委員の質疑の中で、現在アウガの在り方についてプロジェクトチームを編成（有識者3名）12月には経営に関わる意見を頂く事になっております。その答弁の中で、プロジェクトチームから公共施設への意見があるのか無いのかの質疑に対して、はっきりとした答弁がなされませんでした。

その事から、アウガ前提への提言を求めているのでは無いか、アウガ4・5階の市の公共施設への提言も有るのでは無いかと、推察されます。そうならば、事業を実施してしまえば、提言を軽んじる事になることから、提言があるまで、まちなか保健室についての事業について、予算は認めながらも、待つべきとの付帯決議を行いました。